



特定非営利活動法人浦和スポーツクラブ

2022年度 通常総会



1. 2021年度事業報告	1
2. 2021年度決算報告	8
3. 2022年度事業計画(案)	15
4. 2022年度予算(案)	20
5. 役員の補充と運営体制について	22

日時：2022年6月4日(土) 16時～
場所：浦和スポーツクラブ・クラブハウス

1. 2021 年度事業報告：採決事項①

(1) 総括表

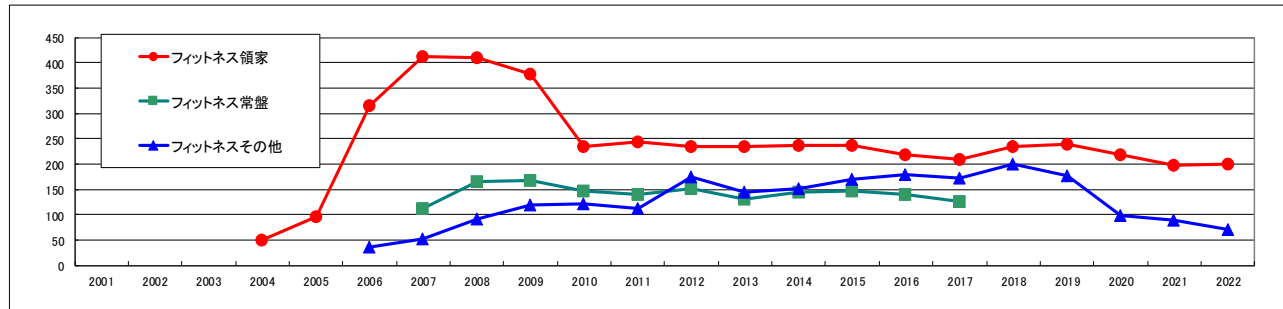
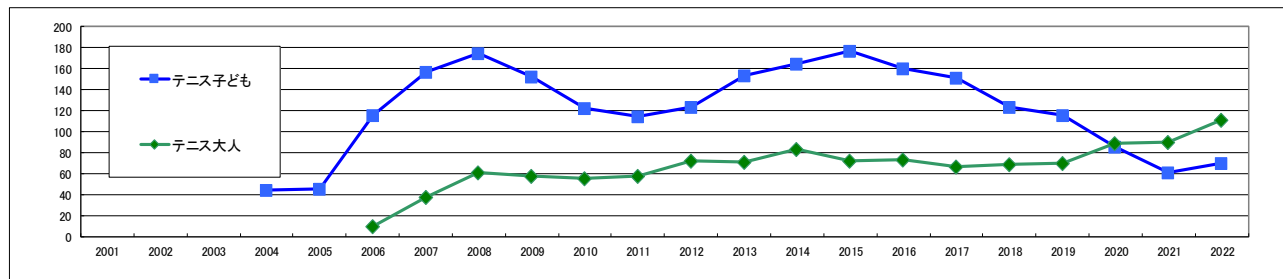
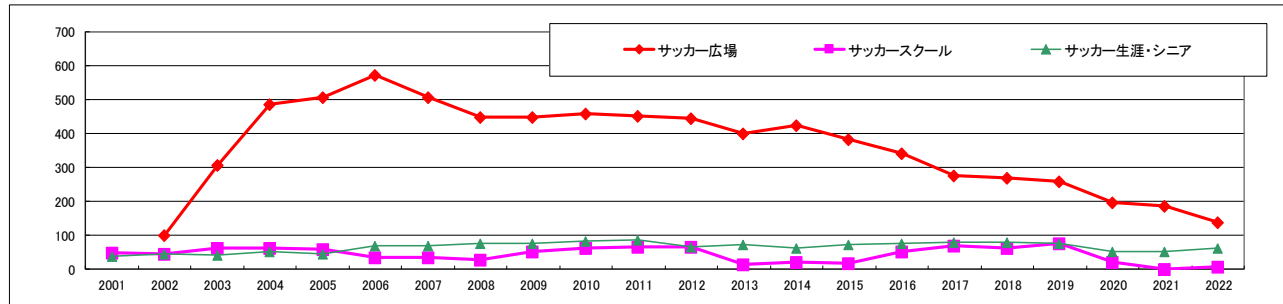
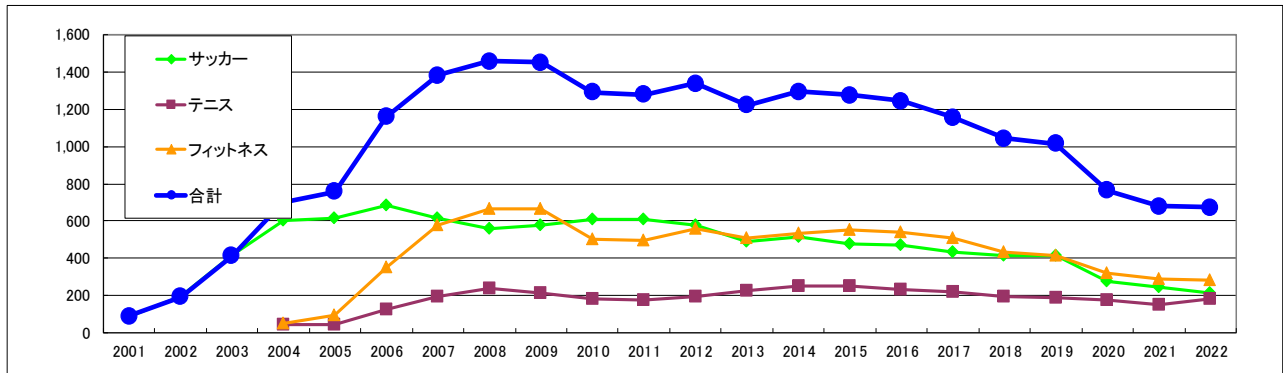
月	クラブ事業	関連事業への参加等
4	サッカースクール・広場再開 17 理事会 30 月刊ウラスポ 243 号	
5	02 女子サッカー打合 16 理事会 28 月刊ウラスポ 244 号 30 バドミントン交流会（与野体育館）	元浦スポキッズテニスの園部八奏さん全国選抜ジュニアで優勝 07 本太中学校開放委員会 13 SC ネットワーク理事会 14 元気アップネットワーク運営委員会 20 支え合い会議（中止）
6	01 監査 12 年次総会 14 平成国際大学前期インターンシップ開始 30 月刊ウラスポ 245 号	04 SC ネットワーク監査 12 元気アップネットワーク総会 19 SC ネットワーク総会 20 駒場競技場かけっこ教室
7	02 平成国際大学前期インターンシップ終了 17 理事会	
8	01 スポーツ交流会実行委員会 16 サッカー広場テレビ朝日取材 21 理事会 31 三世代サッカー 31 月刊ウラスポ 247 号	20 駒場体育館逆上がり教室 25 駒場体育館逆上がり教室 26 駒場体育館走り方教室
9	19 理事会 30 月刊ウラスポ 248 号	02 駒場体育館走り方教室 04 みんなのスポーツ体験会打合せ 09 駒場体育館走り方教室 16 支え合い会議
10	04 平成国際大学前期インターンシップ開始 23 みんなのスポーツ体験会 29 月刊ウラスポ 249 号	28 SC ネットワーク理事会
11	20 理事会 25 リースづくり 27 バドミントン交流会（与野体育館） 30 月刊ウラスポ 250 号	27 SC ネットワークウォーキングとヨガ 28 総合型地域スポーツクラブ連絡会議
12	18 理事会 24 月刊ウラスポ 251 号	05 クラブ間交流事業（スポーツ鬼ごっこ in ふくはら） 16 支え合い会議 26 見沼プロジェクト会議
1	22 理事会 31 月刊ウラスポ 252 号	08 SC ネットワーク（伝承鬼ごっこ） 23 健康フェア打合せ
2	19 理事会 28 月刊ウラスポ 253 号	06 クラブミーティング in 熊谷 09 SC ネットワーク理事会 19 彩の国 S C ステップアップ研修会①
3	12 理事会 31 月刊ウラスポ 254 号	05 SC ネットワーク臨時総会 12 彩の国 S C ステップアップ研修会② 13 健康フェア（中止） 18 本太中学校開放委員会 19 元気アップネットワーク運営委員会 19 彩の国 S C ステップアップ研修会③

(2) 会員数

- ・ 2021年4月当初の会員数は674名となり、前年度よりも70名近く減少しました。
- ・ コロナ禍により活動を停止する会員に加え、緊急事態宣言・まん延防止措置により新年度の募集が進まず会員数は減少傾向にあります。
- ・ 損益分岐点を大きく割り込んでおり、種々の対策が必要です。

	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
サッカー広場		100	308	486	509	575	508	449	448	461	454
サッカースクール	50	48	62	65	60	37	35	29	54	64	67
サッカー生涯・シニア	40	45	42	54	48	70	69	78	77	84	88
テニス子ども				45	46	116	157	175	153	123	115
テニス大人						11	38	61	58	56	58
フィットネス領家				50	95	314	413	410	377	234	244
フィットネス常盤							112	165	167	147	140
フィットネスその他						35	51	91	118	121	113
サッカー	90	193	412	605	617	682	612	556	579	609	609
テニス				45	46	127	195	236	211	179	173
フィットネス				50	95	349	576	666	662	502	497
合計	90	193	412	700	758	1,158	1,383	1,458	1,452	1,290	1,279

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
サッカー広場	454	445	402	425	383	343	278	272	260	199	186	140
サッカースクール	67	66	14	22	20	52	72	63	77	21	3	7
サッカー生涯・シニア	88	68	73	65	73	76	82	81	77	53	54	65
テニス子ども	115	124	154	165	177	160	151	124	116	86	61	70
テニス大人	58	73	71	84	73	74	67	69	70	89	90	112
フィットネス領家	244	235	234	236	236	219	208	235	238	218	197	199
フィットネス常盤	140	152	131	144	146	140	125					
フィットネスその他	113	174	144	152	169	180	173	199	176	99	89	71
サッカー	609	579	489	512	476	471	432	416	415	273	243	212
テニス	173	197	225	249	250	234	218	193	186	175	151	182
フィットネス	497	561	509	532	551	539	506	434	414	317	286	280
合計	1,279	1,337	1,223	1,293	1,277	1,244	1,156	1,043	1,015	765	680	674



(3) 年度当初事業計画と成果

2021年度当初事業計画	成果
<p>1. 全体</p> <p>■特別課題</p> <p>①会員確保のための活動 ②存続のための資金確保と支出削減 ③コロナ等にも負けない運営の仕組みづくり</p> <p>■30周年事業</p> <p>①記念誌の作成 ②記念式典の開催</p>	<p>■特別課題</p> <p>△有効な策はうてていない ○家賃の減額をお願いし1年間3割減にしていただいている。 ○運営のスリム化を進めている</p> <p>■30周年事業</p> <p>●進められなかった</p>
<p>■基本テーマ</p> <p>◆子どものスポーツ環境の充実 ◆大人のスポーツ環境の充実 ◆シニアのスポーツや運動環境の充実</p> <p>を目指しており、これを実現するために ☆他にはない受け皿を用意していく ☆使える場所を増やす ☆地域とつながる・つなげる活動を展開していきます。</p>	<p>△現状維持 ○星空に子どもの頃からきていた子どもが、大人になって生涯コース入る人数が増えた △現状維持</p>
<p>【プロジェクト】</p>	
<p>1) 中学生のスポーツ環境向上プロジェクト</p> <p>①チャレンジクラブ</p> <p>②部活サポートの地域内のネットワーク構築 ③中学女子サッカー支援プロジェクト：SC—STERNとの連携</p> <p>2) 子どものスポーツについて考える機会づくり クラブ内だけで進めず、地域と一緒に考える機会をつくっていきます。</p> <p>3) パラ種目体験・交流事業 ・「誰でもJOIN」を推進するため、関連団体と連携して、体験会や交流会の開催にむけて取組めます。</p>	<p>△チャレンジクラブはサッカーとバドミントンのみ実施した △2022年度にむけた話し合い開始 ○SC-STERNの活動場所の確保</p> <p>●取組めなかった</p> <p>○車イスバスケット体験会が開催できた</p>
<p>【通常事業】</p>	
<p>(1) クラブメンバーシップを育む</p> <p>・指導者もプレイヤーも、みんながクラブは自己実現を図る場という考えを広げていきます。 ・会員やその家族が、種目の壁を越えて交流できる事業を実施し、各種イベントなどへの参加を促していきます。 ・活動に関わるスタッフ間の意思の共有を進めます。</p>	<p>●コロナ禍において交流イベントなどが実施できなかった。</p>
<p>(2) 広報・PRに力を入れます</p> <p>・ニュースの配布先を増やします。</p>	<p>●ニュースの地域配布ができていない</p>
<p>(3) さいたま市内の地域スポーツクラブと連携した事業の推進</p>	<p>●取組めなかった</p>

(4) 駒場体育館指定管理事業の充実	○テニス自主事業は定着してきている
(5) スポーツ用品リユースプロジェクト	●新たに取組みができなかった。収集物未整理
(6) その他 ①彩の国SCネットワーク事務局 ②地域の少年団などとの連携を高める ③地域課題の解決に取組む団体との連携を高める	○継続的に担当 △本中のさらなる利用にむけた関係強化を継続 △スポーツ庁事業にあわせて話し合いを継続
2. プログラム (1) サッカー ・広場の会員増加、プログラムの充実をはかります ・中学女子サッカーのプログラムを関係機関と連携して会員増・充実を図ります ・生涯コースの会員を増やします ・スーパーシニア広場の会員増をはかります	●広場会員数の増加していない ○STERNの練習場所確保 ○生涯コース会員増によりリーグ戦参加できた ○SSは皆さん元気に続けている
(2) テニス ・テニス会員の増加を目指します ・テニスコート確保に努めます ・市民大会に、浦和スポーツクラブとして参加します	△大人の会員数は大きな増減はない ●本中テニスコートの利用が進んでいない ○市民大会への参加は進んでいる
(3) フィットネス ・会員の増加、クラス数の増加を図ります ・スタジオのさらなる活用とそのため指導者の確保を図ります ・シニア対象プログラムの会員増加を図ります ・貯筋運動の普及を図ります	△増えていない ○オンライン参加が定着してきた △コロナ禍で現状維持
(4) 卓球 ➢2022年度の再開にむけて体制構築を検討します	●後継者探しが必要 浦高体育館の利用中止により活動休止
(5) その他 ・星空スポーツ広場参加者のクラブへの理解を進めるように取り組みます ・様々な専門知識を持った人材を活かし、各プログラムに+αを付け加えていきます ・スポーツ鬼ごっこの家族参加コースの充実	○運営を手伝ってくれる参加者が増えてきた ●新たな取組みは行えなかった ○コロナ禍で人数制限はあったが活況

(総論)

- ✓ コロナ禍がおさまりを見せず、会員増加にむけた取組みが行えませんでした。
- ✓ 浦高体育館の耐震補強工事のため、1年間利用できませんでした。
- ✓ スポーツ庁モデル事業は2019年度で終えたが、チャレンジクラブに取組み、サッカーとバドミントンを継続できた。

【緊急課題対応】

1) 会員確保のための活動

- ・コロナの収束が見えない中で新規の大々的な募集活動が難しい状況に変化はなかった。

2) 存続のための資金確保

- ・家賃の減額をオーナーにお願いし、1年間3割減を認めていただいた。
- ・クラウドファンด์や会費の値上げ等には着手しなかった。

3) コロナ等にも負けない運営の仕組みづくり

- ・スタジオのリモート参加は定着してきた。
- ・新規クラブハウス確保の件は進展していません

(各論)

【プロジェクト】

1) 中学生のスポーツ環境向上プロジェクト

① チャレンジクラブ

✓ コロナ禍で活動回数は少なかったが、サッカーとバドミントンで実施した。

② 部活サポートの地域内のネットワーク構築

✓ 野球指導者と話し合うことができた

③ 中学生女子サッカー支援プロジェクト

✓ SC—S T E R Nとの連携が実現した

✓ 関連して本太小少年団等の協力関係もできてきました。

2) こどものスポーツについて考える機会づくり

✓ 部活動支援について、理事会で話し合い、勉強会にも参加した

3) パラ種目体験

✓ 車いすバスケットボール体験会を開催した

【通常事業】

1) クラブメンバーシップを育む(仲間づくり、社会参加の実現)

✓ 交流機会をつくるのが難しかった。

2) 広報・PRに力を入れます

✓ ニュースの配布先拡大について元気アップNWの協力が得られた。

✓ コロナ禍が収まりを見せないことで、広報等はあまり行えなかった。

3) さいたま市内の地域スポーツクラブと連携した事業の推進

✓ コロナ対応で、イベント等が行えませんでした

4) 駒場体育館指定管理事業の充実等

✓ 健康フェアが小規模だが再開できた。

5) スポーツ用品リユースプロジェクトの継続

✓ 進められなかった。

6) そのほか

✓ 彩の国SCネットワークの事務局を担った。

✓ 昨年度に引き続き彩の国SCの事業として部活連携に関する全国事例紹介3夜連続講座を企画・実施した。

✓ 本中プロジェクトの実施に伴い、少年団指導者との連携をとった。

✓ フードパントリー西大宮に協力した。

7) プログラム

①サッカー

- ✓ 広場の会員は横ばい、微減
- ✓ スクールは継続。
- ✓ 中学女子サッカーは STERN と連携
- ✓ 生涯コースに若手が増えてきた
- ✓ スーパーシニア広場は特に大きな変化はなく安定して活動

②テニス

- ✓ 会員のニーズにあわせたコース設定など工夫を重ねた
- ✓ テニスコートの確保には至らず。
- ✓ 駒場体育館自主事業は定番化。

③フィットネス

- ✓ 土曜日の午前中に新プログラムを定着。

④卓球

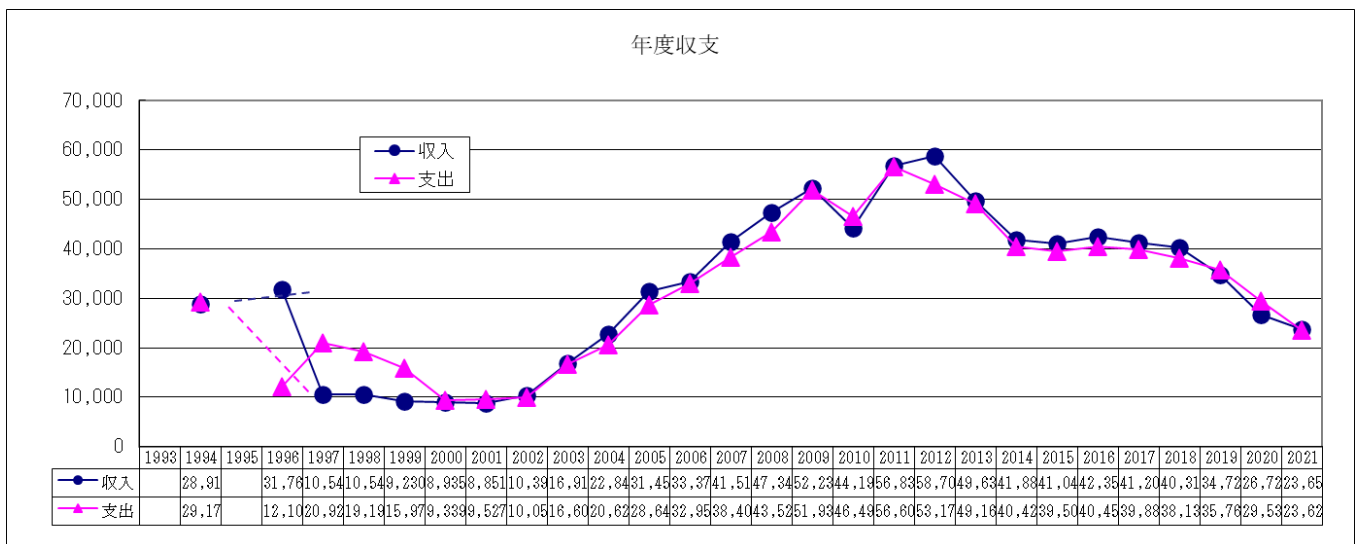
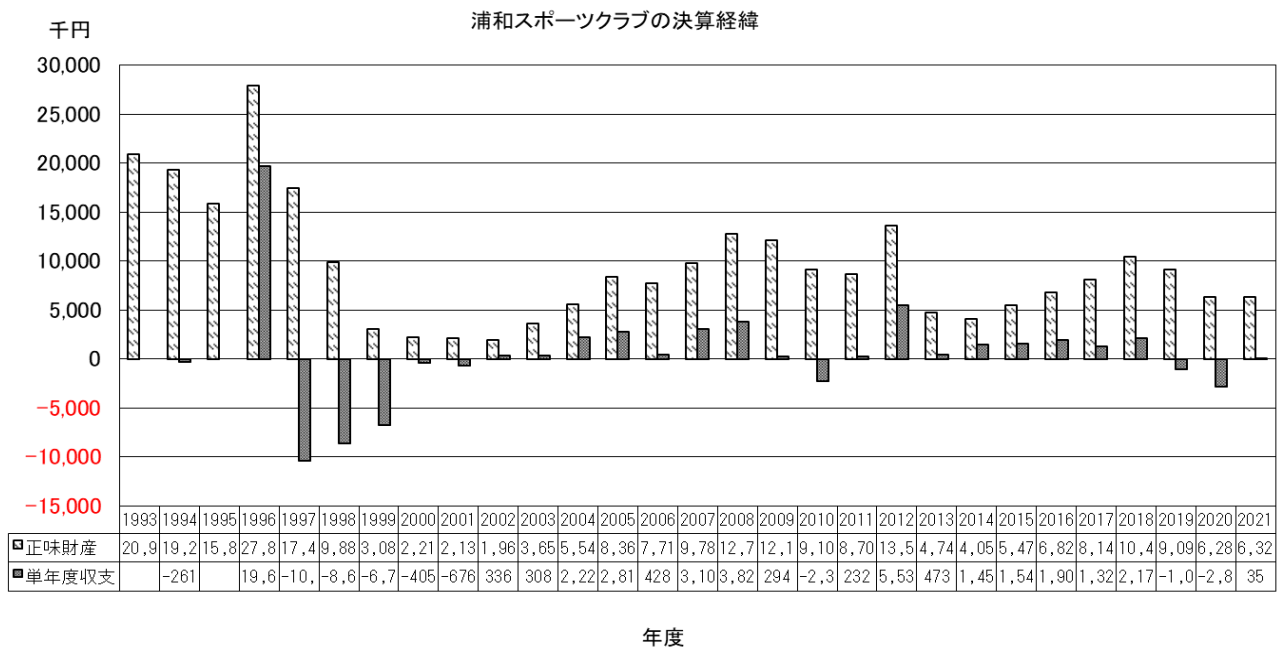
- ✓ 浦高体育館の耐震対策のため休止。

⑤その他

- ✓ 星空スポーツ広場のバドミントンも休止
- ✓ サッカーは、参加者による自主的な運営が根付いてきた。

2. 2021年度決算報告（2021年4月1日～2022年3月31日）：採決事項②

- 収入総額は約2,366万円となりました。予算では約2,219万円を見込んでいましたので150万ほど多くなりました。昨年度より約300万円の減収です。
- 予算で見込んでいなかった事業復活支援金100万円を受給しました。
- 会費等の収入は約2,153万円となり、予算の2,158万円とほぼ同じになりました。会費収入だけをみると前年度1,721万円から432万円増加しています。
- 今年度はスポーツ庁事業を受託せず自主的に継続しましたが、まん延防止などにより十分な活動はできませんでした。
- 支出は、2,362万円で、予算の2,495万円よりも約133万円少なくなりましたが、これは予算立案時には見込んでいなかった家賃の一時的な値下げやまん延防止措置による活動の自粛によるものです。
- 以上の結果、単年度の経常収支で約3万円の黒字となりました。予算では276万の赤字としていたので、マイナス幅は大幅に縮小されました。



活動計算書

(単位：円)

NPO法人 浦和スポーツクラブ

自 令和3年 4月 1日 至 令和4年 3月31日

【経常収益】

【受取会費】

正会員受取会費	65,000	
賛助会員受取会費	100,000	165,000

【受取寄付金】

受取寄付金		21,500
-------	--	--------

【受取助成金等】

受取助成金	1,903,500		一時支援金60万、事業復活支援金100万、雇用安定助成金30万3500円
受取補助金	89,000	1,992,500	

【事業収益】

事業 収益	21,527,821		障害者スポーツ活動支援事業
売上値引き	△ 597,806	20,930,015	

【その他収益】

受取 利息	21		
雑 収 益	134,610	…	簡易課税の消費税調整差額
用具等販売	415,457	550,088	サッカー広場シャツ代、印刷機利用料
経常収益 計		23,659,103	

【経常費用】

【事業費】

(人件費)

臨時雇賃金	9,782,390		… コーチ指導謝金
休業手当(事業)	209,500		
人件費計	9,991,890		

(その他経費)

諸 謝 金	1,247,364		… バレエ、チャレンジクラブ
印刷製本費(事業)	10,628		
旅費交通費(事業)	80,881		… TFP
車 両 費(事業)	129,973		… 税金、車検、ガソリン
通信運搬費(事業)	20,000		
消耗品 費(事業)	236,561		… テニスボール
用具等販売原価	397,539		… サッカー広場シャツ代
賃 借 料(事業)	2,000,650		… グラウンド、テニスコート、体育館、スタジオ
登 録 費(事業)	102,500		… サッカー、テニス、鬼ごっこ
保 険 料(事業)	280,160		… 傷害保険、車保険
外 注 費	1,728,445		… TFP、ゲットサッカースクール
雑 費(事業)	30,386		… 卒業記念品、イベント
その他経費計	6,265,087		
事業費 計		16,256,977	

【管理費】

(人件費)

給料 手当	245,000		
アルバイト給料	3,113,000		
休業手当	94,000		
通 勤 費	15,000		
法定福利費	86,998		… 労働保険料、社会保険料
人件費計	3,553,998		

(その他経費)

印 刷 費	133,626		… ニュース印刷費
通信運搬費	692,244		… 郵便、KDDI、HP管理料
事務消耗品費	107,947		… 封筒、用紙、文具
備品消耗品費	241,105		… ノートPC、ソフト更新料、プリンター他
修 繕 費	8,000		… スタジオエアコン
水道光熱費	314,202		… 2階、3階の電気
賃 借 料	1,270,052		… 事務所分賃料
減価償却費	105,400		… 印刷機、製氷機
保 険 料	120,610		… 賠償責任、火災、指導者傷害
諸 会 費	24,456		… 元氣アップ、彩の国、NPOセンター
リ ー ス 料	437,781		… コピー機、AED、セコム
支払手数料	344,337		… 振込手数料、税理士報酬
雑 費	13,740		… 薬品、ごみ処分費
その他経費計	3,813,500		
管理費 計		7,367,498	

経常費用 計		23,624,475
当期経常増減額		34,628

【経常外収益】		
経常外収益 計		0
【経常外費用】		
経常外費用 計		0
税引前当期正味財産増減額		34,628
当期正味財産増減額		34,628
前期繰越正味財産額		6,285,537
次期繰越正味財産額		6,320,165

【活動計算書の注記】

【重要な会計方針】

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1). 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却しています。

(2). 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜経理方式によっています。

【事業別損益の状況】

事業別損益の状況は別紙の通りです。

【固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高】

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
車両（ハイエース）	1,443,000	1,442,999	1
建物付属設備（施設改修）	4,463,026	4,463,026	0
什器備品（空調設備）	1,470,000	1,469,999	1
リース資産（印刷機1）除却	385,000	385,000	0
リース資産（印刷機2）	360,000	300,000	60,000
リース資産（コピー機）	444,000	444,000	0
器具及び備品（製氷機）	200,000	122,466	77,534
合計	8,765,026	8,627,490	137,536

【借入金の増減内訳】

借入金はありません

【役員及びその近親者との取引の内容】

役員及びその近親者との取引はありません。

事業別損益の状況（別紙）

（単位：円）

科目	サッカー	フットサ	テニス	その他	事業部門計	管理費計	合計
I 経常収益							
1. 受取会費						165,000	165,000
2. 受取寄付金						21,500	21,500
3. 受取助成金等						1,992,500	1,992,500
4. 事業収益	5,241,456	8,416,812	6,481,204	1,388,349	21,527,821	-597,806	20,930,015
5. その他収益	371,818	36,000			407,818	142,270	550,088
経常収益計	5,613,274	8,452,812	6,481,204	1,388,349	21,935,639	1,723,464	23,659,103
II 経常費用							
1. 人件費							
給料	2,143,700	2,728,000	4,145,690	765,000	9,782,390	3,358,000	13,140,390
手当		7,000	202,500		209,500	94,000	303,500
労働費						15,000	15,000
福利費						86,998	86,998
2. その他経費							
諸謝金	1,130,095			117,269	1,247,364		1,247,364
印刷製本費	1,373			9,255	10,628	133,626	144,254
会議交通費	66,917				80,881		80,881
交向搬費	129,973				129,973		129,973
運品費			139,544	20,000	20,000	692,244	712,244
消耗品費	18,469	41,945		36,603	236,561	349,052	585,613
用具等販売原価	397,539				397,539		397,539
修繕費						8,000	8,000
水道光熱費	266,539	1,462,438	224,216	47,457	2,000,650	314,202	3,270,702
賃借料	60,500	17,500	24,500		102,500	1,270,052	102,500
登録料	132,767	60,731	59,574	27,088	280,160	120,610	400,770
保険料							
租税	303,636	1,424,809			1,728,445		1,728,445
外注費							
広告費						105,400	105,400
宣伝費						24,456	24,456
借入金費						437,781	437,781
リース料						344,337	344,337
手数料	0	18,830	0	11,556	30,386	13,740	44,126
雑費							
経常費用計	3,467,087	6,959,638	4,796,024	1,034,228	16,256,977	7,367,498	23,624,475
当期経常増減額	2,146,187	1,493,174	1,685,180	354,121	5,678,662		34,628

※その他の部門は、星空スポーツ広場・駒場自主事業・チャレンジ777

貸借対照表

NPO法人 浦和スポーツクラブ
全事業所

(単位：円)

2022年 3月31日 現在

		《資産の部》		
【流動資産】				
(現金・預金)				
現金	120,515			
普通預金	6,478,172			
現金・預金計	6,598,687			
(売上債権)				
未収会費	15,620			
未収金	160,000			
未収助成金	303,500			
売上債権計	479,120			
(その他流動資産)				
前払費用	415,884			
その他流動資産計	415,884			
流動資産合計			7,493,691	
【固定資産】				
(有形固定資産)				
建物附属設備	1			
車両運搬具	1			
器具及び備品	77,534			
リース資産	60,000			
有形固定資産計	137,536			
(無形固定資産)				
電話加入権	76,440			
無形固定資産計	76,440			
(投資その他の資産)				
敷金	746,000			
投資その他の資産計	746,000			
固定資産合計			959,976	
資産の部合計			8,453,667	
《負債の部》				
【流動負債】				
未払金	1,281,400			
前受金	155,760			
預り金	25,502			
未払消費税等	602,800			
流動負債計			2,065,462	
【固定負債】				
リース負債	68,040			
固定負債計			68,040	
負債の部合計			2,133,502	
《正味財産の部》				
【正味財産】				
前期繰越正味財産額	6,285,537			
当期正味財産増減額	34,628			
正味財産計			6,320,165	
正味財産の部合計			6,320,165	
負債・正味財産合計			8,453,667	

財 産 目 録

NPO法人 浦和スポーツクラブ
全事業所

(単位：円)

令和4年 3月31日 現在

		《資産の部》	
【流動資産】			
(現金・預金)			
現金	120,515		
普通預金	6,478,172		
埼玉りそな	(951,767)		
ゆうちょ	(1,439,889)		
郵貯振替口座	(1,999,397)		
城北信用1	(14,105)		
施設費積立	(2,000,110)		
toto	(72,904)		
現金・預金計	<u>6,598,657</u>		
(売上債権)			
未収会費	15,620		
未収金	160,000		
未収助成金	303,500		
売上債権計	<u>479,120</u>		
(その他流動資産)			
前払費用	415,884		
その他流動資産計	<u>415,884</u>		
流動資産合計		7,493,691	
【固定資産】			
(有形固定資産)			
建物附属設備	1		
車両運搬具	1		
器具及び備品	77,534		
リース資産	60,000		
有形固定資産計	<u>137,536</u>		
(無形固定資産)			
電話加入権	76,440		
無形固定資産計	<u>76,440</u>		
(投資その他の資産)			
敷金	746,000		
投資その他の資産計	<u>746,000</u>		
固定資産合計		<u>959,976</u>	
資産の部合計			8,453,667
《負債の部》			
【流動負債】			
未払金	1,281,400		
前受金	155,760		
預り金	25,502		
雇用保険	(4,374)		
住民税	(△ 1,800)		
源泉徴収税	(22,928)		
未払消費税等	602,800		
流動負債計	<u>2,065,462</u>		
【固定負債】			
リース負債	68,040		
固定負債計	<u>68,040</u>		
負債の部合計		<u>2,133,502</u>	
正味財産			<u>6,320,165</u>


監査報告書

令和4年5月20日

特定非営利活動法人浦和スポーツクラブ

理事長 小野崎研郎 殿

監事 三戸一嘉 

監事 柴崎栄一 

特定非営利活動法人浦和スポーツクラブの令和3年4月1日から令和4年3月31日までの2021年度の理事の業務執行状況、及び事業報告書、貸借対照表、活動報告書、並びに財産目録（以下、事業報告書等）について、監査を実施した。

監査結果の意見は、次のとおりである。

- (1) 理事の業務執行に関し、不正行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められなかった。
- (2) 上記の事業報告書等が、特定非営利活動法人 浦和スポーツクラブの 令和4年3月31日現在の財産状況、及び同日をもって終了する事業年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

以上

3. 2022 年度事業計画（案）：採決事項③

(1) 会議・行事等

月	日	行 事	会 場
4 月	16	理事会	クラブ事務所 駒場体育館
	30	みんなのスポーツ準備会議	
5 月	14	理事会	
	22	みんなのスポーツ実行委員会	
	27	スポーツ庁事業準備会議	
	31	JV会議	
6 月	4	浦和スポーツクラブ定期総会 スポーツ庁事業着手、プロジェクト会議 (25 元気アップネットワーク年次総会)	
	9	みんなのスポーツ実行委員会 スポーツ庁事業プロジェクト会議 理事会	
8 月		三世代サッカー広場 理事会	
	28	みんなのスポーツ健康フェア	
9 月		体育館・テニスコート活用事業開始 理事会	
10 月	23	理事会 バドミントン・テニスミニ大会（駒場体育館）	
11 月		理事会	
12 月		理事会	
1 月	15	みんなのスポーツ・健康フェア（第2回） スポーツ庁事業プロジェクト会議 理事会	
	2 月	スポーツ庁事業プロジェクト会議 理事会	
3 月		スポーツ庁事業報告会 理事会	

(2) クラブ全体として

■緊急課題対応（3年目）

- ▶会員数が700名を下回った状態です。コロナ禍で活動はかろうじて続けられていますが、新規会員確保がうまく進んでいません。
- ▶クラブの存続にむけて、引き続き以下のことに取組みます。

- ① 会員確保のための活動
- ② 存続のための資金確保と支出削減
- ③ コロナ等にも負けない運営の仕組みづくり

①会員確保のための活動

- ・指導者・現会員の皆さんと危機感を共有します。

- ・全てのプログラムにおいて会員を増やすために広報活動と体験会等の開催に、これまで以上に取組みます。
- ・PRチラシの配布
 - ▶関連事業のPRとあわせてクラブのPRを進めます。
 - ☆みんなのスポーツフェアのチラシ 20,000部×2回でクラブをPR
 - ☆スポーツ庁プロジェクトで10,000部を8回配布。
 - ▶HPを改定し、プログラムがわかりやすいものとします。

②存続のための資金確保と支出削減

1)助成金の確保

- ・種々の助成金の確保に努めます。

2)支出の削減

- ・固定費削減のための交渉、お願い、節約を進めます。
- ・プログラムの実施回数を予定以上行わないように徹底します。

昨年度、各種助成金を受けられたことで、計画よりも状況は悪化しませんでした。今年度も状況が改善しないままでは、来年度にはクラブの財政が破綻する可能性が残されています。

家賃の減額措置も9月までです。

したがって、本年9月末の時点で、傾向に改善が見られない場合には、以下のことについて検討を開始し、確保することを検討、実施していきます。

- 1) 指導謝金等の一部カット
- 2) 期間限定の会費の値上げ
- 3) 寄付・クラウドファンディング等

③コロナ等に負けない仕組みづくり

1) クラブハウスの確保：

学校等の敷地の活用などにより協働の役割分担を求めていきます

2) 多年代の連続性の確保：

子どもから大人までプログラムの連続性を確保し、生涯スポーツの場としてクラブで続ける人を増やします。

3) クラブハウスの徹底活用～会員の参加

クラブのプログラムの空き時間をつかった収入の確保。

■30周年事業（持ち越し作業）

昨年度完成しなかった記念誌を完成させる

■従来方針

《基本的な考え方》

- 自立・自律：運営のベースは会費を主として、会員の中で物事を決めていく
- 持続・継続：毎週、毎月、毎年継続していけるようにする
- 共益・地益：共益を目指す互助組織だが、地域が良くなるのが会員の益になると考える

《目指すところ》

- ◆子どものスポーツ環境の充実
- ◆大人のスポーツ環境の充実
- ◆シニアのスポーツや運動環境の充実

《取組み》

- ☆他にはない受け皿を用意していく
- ☆使える場所を増やす
- ☆地域とつながる・つなげる

【事業の取組方針】

これまでと同様に、社会的に大きな話題となった部活動を始めとした子どものスポーツ環境の改善と、パラスポーツとの交流をとおした共生社会にむけた取組みを進めます。

ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止と活動休止によるダメージが拡大しないように十分配慮します。

I プロジェクト

1) 中学生のスポーツ環境向上プロジェクト

- ②チャレンジクラブの実施
- ②ファーストステップ講習会（バドミントン）
- ③中学女子サッカー支援プロジェクト：SC—STERNとの連携の継続

2) 「誰もが気軽にスポーツに親しめる場づくり総合推進事業（学校体育施設の有効活用推進事業）」

- ・教育委員会、市スポーツ振興課にも会議に参加してもらい、問題意識の共有を進める。
- ・地域にも広く広報を行い（10000部×7カ月）、クラブの取組みの周知を図る。

3) パラ種目体験・交流事業

- ・「誰でもJOIN」を推進するため、関連団体と連携して、体験会や交流会の開催にむけて取組む。
 - 8月28日（日） ブラインドサッカー 埼玉T.Wings （調整中）
 - 1月15日（日） 車いすバスケット 埼玉ライオンズ

4) 見沼スポーツパークプロジェクトの再開

- ・ 2012年に取組んだ見沼田んぼ公有地の有効活用「緑のスポーツ広場」について、市のセントラルパーク構想の進展を踏まえて、取組みを再開

II 通常事業

1) クラブメンバーシップを育む（仲間づくり、社会参加の実現）

- ・指導者もプレイヤーも、応援者もみんながクラブのメンバーとして活動する、「お客さま」で終わらないクラブにしていきます

- ・会員やその家族が、種目の壁を越えて交流できる事業を実施し、各種イベントなどへの参加を促していきます。
- ・活動に関わるスタッフ間の意思の共有を進めます。

2) 広報・PRに力を入れます

- ・ニュースの配布先を増やし、確実に配布します。

3) さいたま市内の地域スポーツクラブと連携した事業の推進

- ・さいたま市内の総合型地域スポーツクラブと連携し、中学校部活動の地域移行にむけた取組みを始めます。

4) 駒場体育館指定管理事業の充実・指定管理の継続にむけた取組み

- ・今年度も地域事業を契機として、地域のネットワークづくりを進めます（体育館利用団体の連携）
- ・指定管理者の契約更新年度になるため、継続契約にむけて努める。

5) スポーツ用品リユースプロジェクト

- ・アジアアフリカと共に歩む会に協力することで、活動を再開

6) そのほか

- ・彩の国SCネットワークの事務局を継続します。
- ・スポーツ推進委員や少年団など地域のスポーツ機関・組織との連携を高めます。
- ・地域課題の解決に取り組む団体や機関との連携も進めます。
- ・にしにこフードパントリーへの協力を継続

7) プログラム

①サッカー

- ▶広場の会員増加、プログラムの充実をはかります
- ▶中学女子サッカーのプログラムを関係機関と連携して会員増・充実を図ります
- ▶生涯コースの会員を増やします
- ▶スーパーシニア広場の会員増をはかります

②テニス

- ▶テニス会員の増加を目指します
- ▶テニスコート確保に努めます ⇒ 本中テニスコートの活用を進めます
- ▶市民大会に、浦和スポーツクラブとして参加する会員を増やします

③フィットネス

- ▶会員の増加、クラス数の増加を図ります
- ▶スタジオのさらなる活用とそのため指導者の確保を図ります
- ▶シニア対象プログラムの会員増加を図ります。貯筋運動の普及を図ります。

④卓球

- ▶再開にむけて体制構築を検討します

⑤その他

- ▶星空スポーツ広場参加者のクラブへの理解を進めるべく、これからも啓発に取り組むとともに、クラブ事業への参加を促します

- ▶ 様々な専門知識を持った人材を活かし、各プログラムに+αを付け加えていきます
- ▶ スポーツ鬼ごっこの家族参加コースの充実を図ります。

4. 2022年度予算（案）（2022年4月1日～2023年3月31日）：採決事項④

科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員会費収入	¥60,000		
〃 入会金収入	¥-		
賛助会員（個人）	¥-		
賛助会費（法人）	¥100,000	¥160,000	
2 受取助成金等	¥2,480,200		
3 事業収益			
サッカー事業	¥6,796,300		
フィットネス事業	¥9,082,800		
テニス事業	¥8,203,000		
卓球・バドミントン	¥60,000		
地域事業	¥6,459,573	¥30,601,673	
4 その他収益			
用具等販売他	¥127,705		
割引分	¥-300,000	¥-172,295	
当期収入合計（A）			¥33,069,578
II 経常費用			
1 事業費			
サッカー事業	¥5,164,792		
フィットネス事業	¥7,936,124		
テニス事業	¥5,482,768		
卓球・バドミントン	¥195,800		
地域事業	¥7,081,770	¥25,861,254	
2 管理費			
人件費	¥2,417,500		
通信・運搬費	¥698,300		
印刷・事務消耗品	¥426,640		
施設	¥1,378,616		
法定福利・手数料・減価償却他	¥1,470,366	¥6,391,422	
3 予備費			
当期支出合計（B）			¥32,252,676
施設費積立			0
当期収支差額（A）－（B）			¥816,902

*2022年5月の会員数から各学年・クラスで1人会員増、1年間の特別条件で復職することとして計画

	金 額 (税抜)		
	2022予算	2021年度決算	比較
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員会費収入	¥ 60,000	¥ 65,000	¥ -5,000
" 入会金収入	¥ -		¥ -
賛助会員 (個人)	¥ -		¥ -
賛助会費 (法人)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ -
2 受取寄付金	¥ -	¥ 21,500	¥ -21,500
3 受取助成金等	¥ 2,480,200	¥ 1,992,500	¥ 487,700
4 事業収益			
サッカー事業	¥ 6,796,300	¥ 21,527,821	¥ -14,731,521
フィットネス事業	¥ 9,082,800	¥ -	¥ 9,082,800
テニス事業	¥ 8,203,000	¥ -	¥ 8,203,000
卓球事業	¥ 60,000	¥ -	¥ 60,000
地域事業	¥ 6,459,573	¥ -	¥ 6,459,573
5 その他収益			
用具販売	¥ 127,705	¥ 415,457	¥ -287,752
利息		¥ 21	¥ -21
雑収益	¥ -	¥ 134,610	¥ -134,610
割引分	¥ -300,000	¥ -597,806	¥ 297,806
当期収入合計 (A)	¥ 33,069,578	¥ 23,659,103	¥ 9,410,475
II 経常費用			
1 事業費			
サッカー事業	¥ 5,164,792		¥ 5,164,792
フィットネス事業	¥ 7,936,124		¥ 7,936,124
テニス事業	¥ 5,482,768		¥ 5,482,768
卓球事業	¥ 195,800		¥ 195,800
地域事業	¥ 7,081,770		¥ 7,081,770
2 管理費			
人件費	¥ 2,417,500		¥ 2,417,500
通信・運搬費	¥ 698,300		¥ 698,300
印刷・事務消耗品	¥ 426,640		¥ 426,640
施設	¥ 1,378,616		¥ 1,378,616
その他	¥ 1,470,366		¥ 1,470,366
3 予備費			
当期支出合計 (B)	¥ 32,252,676	¥ 23,624,475	
施設積立金	¥ -		
当期収支差額 (A) - (B)	¥ 816,902	¥ 34,628	¥ 782,274

5. 役員補充について

(2021～2022 年度)

■会長

塩野 潔

■理事 (任期 2021～2022 年)

- | | | | |
|----|-------|-----------------|-------|
| 1 | 小野崎研郎 | (サッカー 一般会員) | ／理事長 |
| 2 | 梶谷千恵子 | (テニス指導者) | ／副理事長 |
| 3 | 小川 貴 | (事務局長) | ／副理事長 |
| 4 | 遠山 茂 | (サッカー SS 広場指導者) | |
| 5 | 清水 恵二 | (サッカー 一般会員) | |
| 6 | 内村 久子 | (テニス指導者) | |
| 7 | 木村 曜子 | (テニス指導者) | ⇒ 退任 |
| 8 | 金木 貴子 | (フィットネス指導者) | |
| 9 | 舟山 勝明 | (卓球指導者) | ⇒ 退任 |
| 10 | 片倉 藍 | (クラブマネジャー) | |

監事

- | | | |
|---|-------|------------------|
| 1 | 三戸 一嘉 | (前県体育協会副会長兼専務理事) |
| 2 | 柴崎 栄一 | (弁護士) |

(補充案)

- | | |
|--------|-----------------|
| 篠原 香魚子 | (フィットネス指導者) |
| 飯高 一郎 | (バドミントン指導者) |
| 山根 啓嗣 | (スポーツ鬼ごっこ会員保護者) |

【参考】2022 年度スタッフ

■指導スタッフ

サッカー : 遠山茂、GET スポーツスクール (浅井、瀬戸)

サッカー広場: 片倉藍、宮下竜也、西尾優輝、細野七星、佐藤優成、大倉良太郎、久志本大地、高橋彬人、長嶺琉惟

のびのびスポーツ広場: 片倉藍、GET スポーツスクール

スタジオ: 金木貴子、岸桃子、柳澤舞、伴美紀恵、小川貴、長谷川和美、宮本明美
武鍬志保、篠原香魚子

シニア健康教室: 篠原香魚子、小川貴

テニス: 梶谷千恵子、内村久子、木村曜子、鈴木三恵子、大川みどり、田中幸、堀本知恵美、河合朋子、長島幸子、谷川麻衣、三浦郁哉、矢部憲道、三沢三郎、林正治、谷中努

星空スポーツ広場: (バドミントン) 飯高一郎、仲原尚美、横川孝一 (サッカー) 小野崎研郎

本太中チャレンジクラブ: (バドミントン) 飯高一郎、仲原尚美

2022. 6. 4

NPO法人 浦和スポーツクラブ

(事務所) 〒330-0072 さいたま市浦和区領家4-5-6

電話 048-887-7140

FAX 048-677-7598

e-mail info@urawasc.org

HP-URL <http://www.urawasc.org>

